

令和4年8月16日

美深町議会議長 南 和 博 様

総務住民常任委員会委員長 藤原 芳幸

所 管 事 務 調 査 報 告

本委員会は、下記の事項について閉会中に所管事務調査を行ったので、会議規則第77条の規定により報告する。

記

調査日

令和4年8月5日

調査事項

(1) 町内公共交通の利用実態と課題について

本町においては、高齢化により日常生活での移動の負担が大きくなった住民の足の確保と、公共交通空白地の解消を目指し推進してきた事業が、町内の住民の暮らしの支えとなっている。

過去5年間の利用実績では、フレンドバスにおいて令和2年及び3年は、新型コロナウイルス感染症の影響による利用減少がみられるが、郊外路線は減少幅が小さく生活に根付いた利用がされている。また、デマンドタクシーにより空白地がカバーできたが、利用状況は地区により偏りがある。利用が少ない地域は、現在対象者が少ない状況だが、今後も高齢化が進行することから、継続が必要な事業と言える。

利用者からの要望や苦情も少なく、多くの人が受け入れている状況と思われるが、今後も住民のニーズに合った事業展開が大切であり、現状分析、ニーズ把握がより重要となる。

②地域公共交通活性化協議会の現状と課題について

協議会は該当地域の代表や各種団体、運行関係者など20名で構成し、協議の場を設けて情報の共有を図っている。

住民からの要望、ニーズの把握は住民生活課で行い、運行体制を管理する総務課と連携し対応しているが、スクールバスを運行している教育委員会も含め、各担当間での必要な情報の伝達はもちろん、今回の調査で作成された資料を基に、関係者で利用の実態や統計から見える課題を共有し、対応を協議していくことが重要である。

調査のまとめ

我が国では、高度経済成長により自家用車が急速に普及し、自由で短時間な移動が可能になるなど、住民の暮らしが大きく変化した。平成に入ると、核家族化や高齢化等により移動困難者の問題が表面化し、地方の公共交通の在り方が問われ始めた。

本町は住民の暮らしを支えるため、移動手段の確保や公共交通空白地解消のための対策を進めており、住民生活の利便性向上に寄与している。

また、近年は、高齢者の交通事故が社会問題にもなり、新たな課題が出てきている。

こうした背景からも、現在進めている公共交通の各事業は、運転免許を返納した人にとっても暮らしの下支えとなる事業であり、人口減少が進む厳しい環境下においても現行の事業を継続し、より住民ニーズを反映し充実した制度となるよう研鑽し、住民生活を守っていくことが必要である。

今後は、空白地の解消等から次の段階への事業展開が必要であり、現在行っている買い物支援事業の充実や休日の運行など新たなサービスが求められることも想定され、総務課、住民生活課、教育委員会に加えて保健福祉課とも連携を進め、時代の要請に対応できるよう、これまでの枠にこだわらない新たな発想が加わることを期待したい。

過去5年間の郊外各地区路線ごとの運行実績

フレンドバス運行実績

	利用人数(人)	委託費(円)	国の補助(円)	運賃収入(円)	町支出(円)
平成29年度	4,058	6,804,000	1,550,000	23,860	5,230,140
平成30年度	3,846	7,905,000	965,000	20,850	6,109,150
令和元年度	3,729	7,161,300	2,195,000	18,690	4,947,610
令和2年度	2,325	7,326,000	1,905,000	6,260	5,414,740
令和3年度	2,780	7,326,000	1,781,000	45,290	5,499,710

名士バス仁宇布線デマンドバス運行実績

	利用人数(人)	運行経費(円)	運賃収入(円)	収支(円)	国の補助(円)	町支出(円)
平成29年度	2,818	7,146,000	355,000	-6,811,000	1,226,000	5,585,000
平成30年度	2,303	7,009,000	315,000	-6,694,000	1,594,000	5,100,000
令和元年度	2,664	6,972,000	486,000	-6,486,000	2,623,000	3,863,000
令和2年度	2,677	7,688,000	365,000	-7,323,000	1,972,000	5,351,000
令和3年度	2,647	7,496,000	371,000	-7,125,000	2,150,000	4,975,000

名士バス恩根内線運行実績

	利用人数(人)	運行経費(円)	運賃収入(円)	収支(円)	国道の補助(円)	町支出(円)
平成29年度	45,783	40,490,671	16,252,518	-24,238,153	6,926,000	8,752,000
平成30年度	48,506	40,354,573	18,127,324	-22,227,249	6,710,000	7,844,000
令和元年度	50,794	43,086,525	19,398,669	-23,687,856	6,814,000	8,530,000
令和2年度	47,529	43,375,089	18,722,594	-24,652,495	13,534,000	5,621,000
令和3年度	46,433	44,707,276	18,827,513	-25,879,763	18,593,000	3,683,000

- 町支出分は美深町と名寄市で運行距離数により、美深 50.55%、名寄 49.45%で算出

デマンド型乗り合いタクシー運航実績

	利用人数(人)				運行日数(日)	事業費(円)
	吉野地区	斑溪地区	富岡地区	西紋地区		
令和元年度	0	1	7	122	107	625,130
令和2年度	0	0	34	219	187	1,055,020
令和3年度	0	2	43	204	173	998,140

- 令和元年度から事業開始
- 利用人数は地区の高齢者の利用回数の合算

通学生以外のスクールバス一般利用実績

	一般・敬老利用人数(人)		
	斑溪・吉野・南東線	玉川線	楠・清水線
平成29年度	90	737	163
平成30年度	73	743	140
令和元年度	101	683	113
令和2年度	105	478	16
令和3年度	82	382	0

- 日曜、祝日も運行するが、通学に合わせたダイヤ編成となる